

令和4年12月

普及活動報告

大丹波連携普及活動情報交流会で若手職員から普及活動の事例を発表

(2日)



黒大豆枝豆の機械化に係る現地研修



黒大豆の安定生産に係る事例発表

大丹波連携普及活動情報交流会は毎年開催され、大丹波地域の普及センターが情報交換や交流を行っています。今年度は若手職員への普及指導技術の伝承をテーマに、若手職員による事例発表や若手職員が抱える疑問や困りごとについての意見交換が行われました。南丹普及センターは池田技師から「黒大豆の安定生産を目指して」と題して報告し、黒大豆の産地である丹波普及センターとも情報交換をすることができました。

普及活動に係る意見交換では、若手職員から「農家との会話の膨らませ方」や「役立つ書籍」「効率的な仕事の進め方」などについて質問があり、ベテラン職員からこれまでの経験を踏まえたアドバイスがありました。若手職員からは普及活動に活かしていきたいとの声がありました。

場 所 丹波篠山市民センター他
出席者数 33名

大丹波連携農林推進協議会では、丹波栗品評会や普及活動情報交流会、農業経営士等交流会などを開催しています。

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年12月

普及活動報告

経営支援員と普及指導員との情報交換会を開催

(6日)



農業応援隊長が挨拶



各機関から情報提供

管内3市町商工会の経営支援員と普及指導員との情報交換会を京都丹波農業応援隊の活動として開催し、商工業者への原料農作物のマッチングや農業者が活用できる支援策、農家が6次化に取り組む際の商工業者との連携方法など幅広い内容で情報交換しました。

商工や農業の現状や取組などを情報交換でき、「今回の情報交換をきっかけに、相談しやすくなった」「まずは情報交換したが、今後連携できることがあれば、検討の場を設けよう」など、今後の連携へのきっかけづくりになりました。

場 所 園部総合庁舎

出席者数 18名

管内の経営支援員数：亀岡市6名、南丹市8名、京丹波町5名

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年12月

普及活動報告

インボイス制度について職場研修を開催

(15日)



熱心に研修を受ける普及員

令和5年10月から開始されるインボイス(適格請求書)制度について知識を身につけるため、職場研修を行いました。研修では、外部講師を招いてインボイス制度の概要から影響、JAや直売所出荷など農業者の販売形態で対応が異なることなどを学びました

令和5年1月20日の「京都丹波農業応援隊研修会及び事業説明会」においても、農家向けのインボイス制度研修会を開催する予定です。

場 所 園部総合庁舎

出席者数 23名

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年12月

普及活動報告

亀岡市西部地区で第14回赤小豆品評会を開催

(亀岡市：5・19日)



関係機関による審査

亀岡市西部地区農業振興協議会主催の第14回赤小豆品評会が開催されました。普及センターは出品された小豆の審査を行うとともに、表彰式での賞状授与及び審査講評を行いました。

審査会では関係機関9名の審査員により、出品された13点の小豆の中から、手取り収穫4点、機械収穫1点を優秀賞として選出しました。

表彰式では普及センター所長が優秀賞の1名に所長賞を授与したほか、今年の小豆栽培を振り返りながら審査講評を行いました。

審査員からは、「品質の良い小豆が出品されており甲乙つけがたい」との声が聞かれました。出品数は多くないものの、品評会を楽しみにしている生産者もおられるとのことでした。普及センターは今後も小豆栽培への技術支援を行っていきます。



普及センター所長賞の授与

場 所	JA京都亀岡西武支店
出席者数	12/5 10名
	12/19 17名

亀岡市 令和4年産小豆 102戸 88.1ha

京都府南丹農業改良普及センター